ショッピングセンターオペレーター向け手順：付録E

ロサンゼルス公衆衛生局は、特定の小売企業が安全に再開できるように、科学と公衆衛生の専門知識に支えられた段階的アプローチを採用しています。 以下の要件は、ショッピングモール、デスティネーションショッピングセンター、ストリップモール、アウトレットモール、およびスワップミート（集合的に「ショッピングセンターオペレーター」と呼ぶ）に固有のものです。ショッピングセンターの運営者は、小売テナントやベンダーを含む借手が、自社の業務に適用される手順を認識していることを確認する必要があります。これらのエンティティは手順の実装を担当するが、ショッピングセンターの運営者は、借主による手順の遵守を要求することが推奨されます。知事はこれらの特定の小売業に課す条件に加えて、これらの種の事業は、このインドアショッピングセンターオペレーター向けチェックリストに示されている条件にも準拠している必要があります。

注意：この書類は、追加情報やリソースが利用可能になると随時更新されるため、ロサンゼルス郡のウェブサイト http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/ を定期的にチェックし、この書類に更新がないかを確認してください。

チェックリスト:

（1）従業員の健康を保護するための職場の方針と実践

（2）物理的距離を確保するための措置

（3）感染防止対策

（4）従業員および公衆とのコミュニケーション

（5）重要なサービスへの公平なアクセスを確保するための措置。

これら5つは重要な課題であり、施設で再開手順を開発する際に対処してください。

すべての企業は、以下にリストされている適用可能な措置を全て実施し、実施されていない措置がその企業に適用されない理由を説明する準備が必要です。

会社名: _____

住所: _____

消防法ごとの最大収容人数: _____

一般に公開されているスペースのおおよその総面積: _____

A. 従業員の健康を保護するための職場の方針と慣行

- ☐ できるだけ在宅業務を指示する。
- ☐ 脆弱なスタッフ（65歳以上、妊娠中の人、慢性的な健康状態の人）は可能な限り在宅勤務を行い、懸念事項については、医療提供者または産業保健サービスと話し合って、職場に復帰するかどうかを適切に決定する。
- ☐ 従業員の在宅勤務の機会を増やすために、作業プロセスは可能な限り再構成する。
- ☐ 身体的距離を最大化するための、代替、時間差、またはシフトのスケジュールを設定する。
- ☐ すべての従業員は、病気の場合、またはCOVID-19感染者に曝された場合、出勤しないように言いわたす。
- ☐ 1人以上の従業員がCOVID-19（症例）について陽性反応を示す、または症状が一貫していると通知した際に、雇用主は、症例を自宅隔離し、即時の職場でケースにさらされたすべての従業員の隔離を行う手順がある。雇用主の方針には、すべての隔離された従業員がCOVID-19の検査または検査のアクセスを提供し、職場での曝露がさらにあったかどうかを判断してさらなるCOVID-19管理対策の必要性の対策手順も検討する。
- ☐ 症状チェックは、従業員が職場に入る前に行う。チェックには、咳、息切れまたは発熱、およびその他の症状を含める。これらのチェックは、リモート、または従業員の到着時に直接行うことができる。可能であれば、現場で体温チェックを行う。
- ☐ 14日間以内に職場内で5件以上の症例が確認された場合、雇用主はこの発生を公衆衛生局（888）397-3993、または（213）240-7821に報告して下さい。
- ☐ 勤務中に公衆または他の従業員と接触を取る全従業員には、無料で布製フェイスカバーを提供する。他人との接触や接触の可能性が高い就業時間中は、常に着用する必要がありますが、従業員がプライベートオフィスや壁に囲まれたキュービクルで孤立している場合は着用する必要ありません。
- ☐ 従業員には毎日フェイスカバーを洗濯するように指示する。
- ☐ すべてのワークステーションは少なくとも6フィート離れている。
- ☐ 休憩室、トイレ、その他の一般的なエリアは、次のスケジュールで頻繁に消毒する:
  - ☐ 休憩室 _____
  - ☐ トイレ _____
  - ☐ その他 _____
- ☐ 賃金と時間の規定に準拠して、休憩は相互的に設けられ、従業員間の6フィートを休憩室で常に維持できるようになっている。
- ☐ マスクが一貫して正しく着用されるためには、従業員に休憩中はマスクを安全に外すことができ、他人から物理的距離を保っている場合を除いて、飲食を控えさせる。
- ☐ 消毒剤および関連用品は、次の場所の従業員が利用可能:

  _____

- ☐ COVID-19に対して有効な手の消毒剤は、次の場所で全従業員が利用可能:

- ☐ 従業員は頻繁に休憩をとり、手を洗うように許可する。
- ☐ この手順のコピーを各従業員に配布する。
- ☐ 各従業員には、独自のツール、機器、および定義されたワークスペースが割り当てられる。可能な限り、保持されたアイテム（電話、タブレット、ラップトップ、机、ペン等）の共有は最小限に抑えるか、排除する。
- ☐ このチェックリストに記載されている雇用条件に関連するポリシー以外のすべてのポリシーは、配達スタッフおよび第三者として敷地内にいる可能性のあるその他の会社に適用される。
- ☐ オプション-その他の方法を説明:

B. 物理的距離を確保するための手段

- ☐ 屋内ショッピングセンターと個々の店舗の来客者数は、物理的距離を確保するのに十分なほど少なくし、屋内ショッピングセンター全体の最大占有率の50%を超えることはないようにする。可能な場合、駐車場は最大収容人数の制限をさらに強化する。

  施設内の最大来客者数:

- ☐ 屋外のショッピングセンターの最大占有ルールを分析し、物理的距離を維持できるようにする。スワップミートなどの屋外のショッピングセンターでは、ベンダーが適切な物理的距離要件に従ってテーブル、テント、その他のディスプレイを配置するか、または他の不透過性の障壁が設置されていることを確認する。
- ☐ 敷地内のセキュリティスタッフは、物理的に距離を離す基準に準拠するように来客者と一般市民に積極的に備忘のメッセージを送り奨励する。
- ☐ ショッピングセンターのオペレーターは、占有を追跡するためにすべての入口を監視する。店舗へのいくつかの公共の入り口は、建物の総占有率を簡単に追跡できるように「出口のみ」と指定される場合がある。
- ☐ 設備が定員に達した場合、ドアの近くに布製フェースカバーをしたスタッフ（または複数の入り口がある場合はスタッフ）を配置し、最も近い来客者から少なくとも6フィート離れて占有を追跡し、入口の外側に6フィート離れて並ぶように来客者を誘導する。
- ☐ ショッピングセンターのすべての場所で労働者と来客者の間に物理的距離を確保するために、最低6フィートの物理的距離を確保するための対策を実装する。これには、物理的な仕切りまたは視覚的な手がかり（例えば、床のマーキング、色付きのテープ、または労働者と来客者が立つべき場所を示す標識）の使用が含まれる。従業員は、支払いの受け取り、商品やサービスの提供、またはその他の必要に応じて、一時的に近づくことがある。
- ☐ テープやその他のマーキングは、来客者とライン内の他の来客者との距離を6フィートに保つのに役立たせる。マーキングを利用し、列に到着する来客者の開始場所と、列に参加する後続の来客者の6フィート間隔の両方を識別する。
- ☐ ショッピングセンターのオペレーター、小売テナント、およびベンダーは、人の往来を妨害したり、物理的距離の要件に違反したりしないよう、出店キューイングシステムを共同で開発する。エントリーのためのデジタル予約および事前注文のガイドラインを含む、小売テナント施設への代替エントリーの使

用を検討および推奨する。

- ☐ ベンダーのカートまたはキオスクは、更新された徒歩交通量測定に差し支えたり、物理的距離要件を妨げない場合にのみ、ショッピングセンターの通路または歩行エリアでの操作が許可する。必要に応じて、ベンダーのカートやキオスクを再構成し、待ち行列が物理的距離要件を妨げないようにする。
- ☐ エレベーターの収容人数は、乗客の間の物理的距離を6フィートに保ちながら収容できる人数に制限する。建物の出入り口のピーク時に、乗客の間に6フィートの物理的距離を許容できないエレベーターの場合、この数を一度に4人以下に調整する。すべての乗客は布のフェイスカバーを着用する必要がある。エレベーターの使用状況を監視し、エレベーターの需要が高い場合は、スタッフにエレベーターの持ち行列を支援することを検討する。
- ☐ 公共の座席エリア（例えば、椅子、ベンチ、その他の公共スペース）は、物理的距離をサポートするように再構成する。
- ☐ 休憩室やその他の一般エリアでは、従業員の集まりを制限し、最低6フィートの物理的距離を確保できるように構成する。可能な場合は、シェードカバーと座席のある屋外休憩エリアを設置し、物理的距離を確保する。賃金と時間の規定に準拠して、従業員の休憩時間をずらし、物理的距離の手順を維持できるようにする。
- ☐ 物理的距離要件はロードベイで実装され、非接触型の署名が配送用に実装される。

C. 感染管理を確実にするための手段

- ☐ HVACシステムは正常に機能させ、換気は最大限に高める。ポータブル高効率空気清浄機の設置、建物のエアフィルターの最大設定、および外気の量の増加、オフィスや他のスペースの換気を増やすためのその他の変更を加えることを検討する。
- ☐ 非接触型決済システムを導入するか、または実行不可能な場合、定期的に決済システムを消毒する。詳細：

  _____

- ☐ 共通領域と頻繁に触れる物体（例：手すり、エレベーターのコントロール、ドアノブやハンドル、クレジットカードリーダー、エレベーターボタン、エスカレーターの手すり、ショッピングカートやバスケット、ATMのピンパッド、設備の地図など）は、EPA承認の消毒剤を使用し、製造元の使用説明書に従って営業中は一時間おきに消毒する。
- ☐ ワークスペースと施設全体は毎日掃除され、トイレと頻繁に触れる場所/物体はより頻繁に掃除する。ショッピングセンターの時間は、定期的なディープクリーニングと製品の保管に十分な時間を提供できるように調整する。
- ☐ 公衆トイレはEPA承認の消毒剤を使用して定期的に消毒され、メーカーの使用説明書に従って、次のスケジュールで消毒される:

  _____

- ☐ 公共の飲料水噴水は休止され、操作できないことを来客者に知らせる。
- ☐ 来客者は従業員用トイレの利用不可。
- ☐ サービスを受けるには、布製フェイスカバーを着用する必要があることを来客者に説明し、それはすべての成人と2歳以上の子供に適用される。慢性呼吸器疾患または危険なマスクを使用する他の医学的状態を持つ個人のみがこの要件から免除される。

- ☐ 子供がいる施設に到着する来客者は、子供が親の隣にいることを確認し、他の人や自分に属していないアイテムには触れないようにし、年齢が許す場合はマスクする。
- ☐ 来客者の出入り口、遊歩道、その他の共用スペースには、手指消毒剤、ティッシュ、ゴミ箱などの適切な衛生用品が備え付けられる。
- ☐ 来客者が使用できる試着室はスタッフが監視し、購入されていない試着服は、24時間置いてからラックまたは棚に戻す。
- ☐ フードコート事業を含む小売食品事業は、地方保健担当官の命令に準拠する。
- ☐ 子供の遊び場や、カルーセル、乗り物やアーケードなどの他の設備は閉鎖を継続する。
- ☐ ショッピングセンター内にある映画館、バー、スパ、サロン、その他のパーソナルケアサービスは閉鎖を継続する。
- ☐ オプション-その他の指標の詳細（例：シニア専用時間の提供、オンライン注文/注文の受け取り、非ピーク時の販売の奨励）：

D. 公共に伝達する手段

- ☐ この手順のコピーを施設のすべての公共の入り口に掲示する。
- ☐ 入口および/または顧客が並んでいる場所の掲示で、施設に入室する際に、フェイスカバーを着用することの占有制限および要件を顧客に通知する。
- ☐ ショッピングセンター全体の掲示では、最短に設置してある手指消毒剤ディスペンサーの場所を表示する。
- ☐ 施設のオンラインアウトレット（Webサイト、ソーシャルメディアなど）は、時間、フェイスカバーの必要な使用、予約に関するポリシー、およびその他の関連する問題についての明確な情報を提供する。

E. 重要なサービスへの同等のアクセスを保証する手段

- ☐ 来客者/クライアントにとって重要なサービスを優先する。
- ☐ リモートで提供できる取引またはサービスはオンラインで行う。
- ☐ 行動の制限がある、および/または公共スペースでリスクが高い訪問者が商品やサービスにアクセスできるようにするための措置を講じる。

上記に含まれていない追加の対策は、別のページに記載し、

企業はこの資料に添付する必要があります。

この手順に関する質問やコメントに対するお問い合わせ:

会社の連絡先: _____ **電話番号:** _____

最終更新日: _____